

公益財団法人日本海事センター

第59回理事会議事録

- 1 開催場所 海事センタービル「4階会議室」
- 2 開催日時 令和5年3月1日（水）11時30分～12時00分
- 3 理事現在数及び定足数
現在数 11名、定足数6名
- 4 出席理事 9名
（本人出席）宿利正史、平垣内久隆、下野元也、足立和也、中村紳也、
徳留健二、細川淳
（ウェブ出席）田村城太郎、伴野拓司
（欠席理事）寺門雅史、藤丸明寛
（出席監事）石川尚、阪本敏章、中本光夫
（議案説明及び報告）平垣内久隆理事長、下野元也常務理事
- 5 議案 第1号議案「令和5年度事業計画書及び収支予算書等」について
第2号議案「規程類の制定及び改正」について

報告事項 ①第56回理事会以降の業務執行状況について
②第36回・第37回評議員会の決議内容について

6 会議の概要

(1) 定足数の確認

冒頭で国安総務部長からウェブ出席の田村城太郎理事、伴野拓司理事も含め定足数の充足を確認した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果

定款に基づき、宿利正史会長が議長となり、ウェブ出席の理事も含め、議案の審議に入った。

また、議長は、定款第47条第2項の規定に基づき、議事録署名人は代表理事及び監事になる旨を告げた。

(決議事項)

第1号議案「令和5年度事業計画書及び収支予算書等」について

議長の求めに応じ、下野元也常務理事から、「令和5年度事業計画書（案）」、「収支予算書（案）」及び「資金調達及び設備投資見込に関する書類」について議案説明があった。

また、次のような質疑応答があった。

(徳留理事)

1. GHG 対策で、以前から取組みがされていたが、現在の状況はどうか。
2. ロシアのウクライナ侵攻等により、製造業はサプライチェーンの

見直しを行っており、政府も支援しているが、海運にはどのような動きがあるのか。

3. 自動運航船の論点整理、法的課題とはどのようなものか。

(下野常務理事)

1. GHG 削減については、IMO では2018年に「GHG 削減戦略」を採択し、2030年までにCO2排出量40%以上削減、2050年までにGHG削減50%以上削減する目標を設定している。さらに、2050年までにカーボンニュートラルを実現しようとする動きもあり、排出量取引制度を拡大しようとする動きもある。我々もこうした動きに対応していきたい。
2. サプライチェーンの見直しについては、コロナ禍での運賃高騰、ロシアのウクライナ侵攻等により、中国から列車で欧州まで輸送するシーアンドレールの動き、パナマ運河、スエズ運河等の世界の海上輸送ルート上のチョークポイントなどの輸送ルートに関しての動向に注視していく。
3. 自動運航船については、事故等に伴う責任の所在、製造物責任と船主責任の関係、船長、船主の役割等について検討している。

(細川理事)

共同研究事業収益について、どのような事業が該当するのか。

(下野常務理事)

令和4年度について、国土交通省からの受託事業である「ロシア制裁による我が国海運業界への影響調査」や、内航海運組合総連合会から委託を受けた「内航海運の船腹状況調査」等が該当する。

(徳留理事)

財産運用について、ドル建て社債を対象とするとのことだが、財産運用検討委員会では、リスクについてはどういう検討がなされたのか。

(平垣内理事長)

まず資産運用委員会で、全体の方針だけでなく、個別の債権購入に当たってもその都度意見を伺っている。

委員会の議論では、為替リスクについては、10年程度の長期運用や分散投資を行い、また、全体資産の中でのドル建ての割合を管理すれば良いと見解であった。

なお、基本財産については、当面米国債で考えていきたいと思っている。

審議の結果、原案どおりウェブ出席の田村城太郎理事、伴野拓司理事を含め出席理事全員一致で可決した。

第2号議案「規程類の制定及び改正」について

議長の求めに応じ、平垣内久隆理事長から規程類の制定及び改正原案の説明があった。説明によると、「個人情報保護規程」は、現在の個人情報保護法及び当センターの個人情報保護に関する基本方針に沿って新たに制定するもの、及び「財産運用管理規程」は、新たに選定されたドル建て社債を財産運用の対象にすることにあわせ改正するものであった。

審議の結果、原案どおりウェブ出席の田村城太郎理事、伴野拓司理事を含め出席理事全員一致で可決した。

(報告事項)

①業務執行状況について

下野元也常務理事から、令和4年5月25日開催の第56回理事会以降の公益目的事業の調査研究・政策提言事業、海事関係図書館の管理、運営事業及び海事関係公益活動支援事業、収益事業の海事センタービルの管理、運営事業及び融資事業に係る業務執行状況を報告し、了承された。

②第36回・第37回評議員会の決議内容について

下野元也常務理事から、第36回評議員会（令和4年6月9日開催）及び第37回評議員会（令和4年9月6日開催）の決議内容を報告し、了承された。

以上をもって議案の審議等を終了したので、12時、議長は閉会を宣し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

令和5年3月1日

代表理事 宿利 正史

監 事 石川 尚

監 事 阪本 敏章

監 事 中本 光夫